



2021年 11月4日発行 会報 第1076号

### 今週のプログラム

(2021年 11月 4日 第1076回例会)

『フォーラム』

〔国際奉仕・ロータリー財団・米山各委員会〕

担当：黒川国際奉仕・財団委員長  
木下米山奨学委員長

### 次週のプログラム

(2021年 11月 11日 第1077回例会)

『留学生とのオンライン交歓会』

担当：藤田国際交流委員長

## 第1075回例会 (2021年 10月28日) の記録

### <会長の時間>

水島 洋会長

皆さん、こんばんは。

米山奨学生アクサさん、ようこそ

前にもお話しましたが、10月は米山月間になっていますので、本日は地区米山奨学委員会から坂田妙子副委員長様、魚谷健司副委員長様と学友会関西のミン・スラ会長様、テイ・シエイ理事様においでいただきました。

今年9月に末松米山委員長から本日の卓話テーマについてお話があった時に数年前の韓国の男子学生が卒業と同時に全く連絡がとれなくなり、非常に後味が悪かったこととお話しました。

また、日本人の学生が卒業して社会人になってから奨学金の返済に非常に苦労しているケースがあることから、米山奨学金の一部を日本人に支給できないのでしょうか、とお尋ねしました。

なかなか結論の出ないこととお聞きしているかと思いますが、いろいろとお話いただきましたら有難く存じます。

また、学友会関西からお二人おみえでするので、せっかくですから何かお話いただきたいと思います。本日は、どうぞよろしくお願ひ致します。



<本日のビジター> RI 第 2660 地区米山奨学委員会 副委員長 坂田 妙子様 (池田くれは RC)  
RI 第 2660 地区米山奨学委員会 副委員長 魚谷 健司様 (大阪西南 RC)  
米山学友会 (関西) 会長 ミン・スラ 様  
米山学友会 (関西) 理事 鄭 詩穎様  
米山奨学生 アクサ メイリアナ インタニ様

<出席報告> 黒川 彰夫 SAA 補助

会員数 (内出席免除会員 1 名) 17 名  
本日の出席者数 12 名  
(内出席免除会員 0 名)  
(名誉会員 0 名)  
本日の出席率 75%

<ロータリーソング> 全会員

♪R-O-T-A-R-Y♪

<本日の演奏曲目> 近藤 美里さん

1. 星に願いを
2. You Raise Me Up
3. 虹の彼方に
4. 秋 桜 (コスモス)

<幹事報告>

山本 友亮 幹事

1. ロータリー学友会 オンライン秋のイベントの案内が届きましたので回覧致します。

◆開催日時: 11月28日(日) 13:00~16:00

ウェブフォームより事前登録が必要です(登録期日: 11月12日)

2. 秋の RYLA セミナー (オンライン) の視聴 URL のご連絡がありました。

◆YouTube 視聴 URL はグループメールにて配信済

3. 2020~2021 年度ガバナー月信最終号が 10 部届きましたので  
昨年度の理事・役員に配布致します。

《本日のお料理》



1. 醤油鶏 (冷製)
2. 蟹肉と豆腐のスープ
3. 湯葉巻きの煮込み
4. もんごいかの天ぷら
5. 茄子と挽き肉の魚香煮
6. 白飯、ザーサイ
7. ココナッツミルク

<SAA 報告>

松田 親男 SAA

※スマイルボックス

水島会員 米山委員会の皆様 ようこそおいで下さいました。  
柳原会員 昨日と今日は楽しい税務調査でした。

※ラオス基金

柳原会員 お伊勢さんに行ってきました♪ うれしいな～  
相原会員 コメントなし

※ロータリー財団

黒川会員 山田丸 頑張れ！！  
高尾会員 コメントなし

※米山記念奨学会

柳原会員 今日は昼から一杯飲んでます。  
藤田会員 坂田様、魚谷様、宜しく申し上げます。  
水本会員 米山委員会の皆様 よろしく御願います。  
山田会員 高野山で笑いあり、涙ありの三回忌を終えました。  
皆さんの笑顔に支えられ、ここまで来ました。心より感謝しています。  
来年はもっと支えてね(^^)/  
木下会員 皆様 ようこそいらっしやいました！！  
黒川会員 米山の皆様よろしく！！  
松田会員・高尾会員 コメントなし

※メイプル基金

山本友亮会員 阪神終わりましたね～ オリックスばんざい♪

<卓話>

～\*～\*～\*～\* 米山奨学委員会より \*～\*～\*～\*～

地区米山奨学委員会 副委員長 坂田 妙子様

皆様こんばんは。地区米山副委員長の坂田と申します。本日は卓話の機会を頂きまして、まことにありがとうございます。私はテニスのインストラクターをしております20年前まで現役で日本各地を廻り、試合に参加しておりました。こちらの江坂テニスセンターは、たくさん練習して、試合にも参加していた思い出深い会場でありました。水島会長様も学生時代テニスをされていたそうですので、機会があれば皆様とご一緒にテニスをできる事を楽しみにしております。今日は初めて素敵なピアノ演奏と美味しいお料理の例会に感激しました。先ほどのピアノ演奏も素晴らしかったのですが、これから卓話をして頂く学友会 ミン・スラ会長もオーケストラに例えると一つの物を盛り上げる天才的な才能を持ち、素晴らしい指揮者を演じられます。鄭 詩穎理事は私が2年間カウンセラーを務めました。RCに入会してまだ5年目ですが4名のカウンセラーを経験しました。鄭さんはどんな時でも気遣いや心遣いができ、池田くればRCの会員皆様から愛されています。彼女はRtn.に対して感謝の心を忘れず、社会への恩送りとして学友会の活動を頑張っておられます。それでは2名の学友にバトンタッチします。

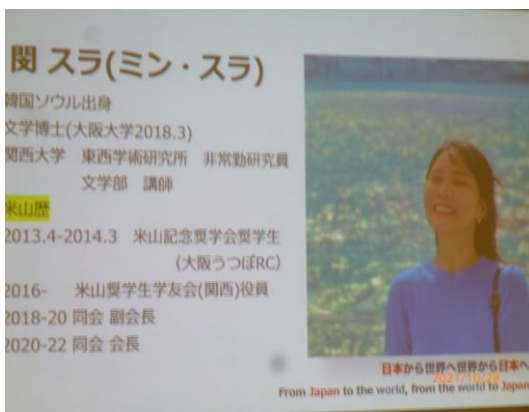
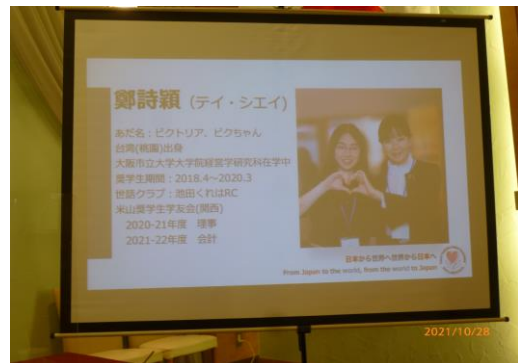
“米山奨学支援活動は世代をつなげる活動であり、日本と世界をつなげる活動、そして奉仕を世界に広げる社会貢献の一環の事業である。”

人それぞれの人生には、さまざまな出来事により何度も変わっていき、磨かれていく時期がくると思います。私たちの物事にたいする価値観とまなざしが変わった重要なその出来事は、米山記念奨学会に奨学生として採択されたことです。なぜならば、米山奨学生になってからこそ学べたことがあったからです。私たちは人生の第一転換点、それを日本で経験しました。

## 1. 米山奨学生になって学んだこと。(鄭 詩穎<sup>てい しえい</sup>)

私は、ロータリー・米山の一員になって次の3つを学ぶことができました。はじめに、日本の文化を学びました。実際留学生たちが日本の文化を深くまで体験することは難しいです。ですが、奨学生になった私はロータリアンの方々と触れ合いながら日本を学ぶことができました。普段は体験できない伝統文化はもちろん、充実した対話の中にも日本を学べるところはいっぱいでした。第二、世界を学びました。各国からきている奨学生たちと友達になって、日本の中で世界を学びました。異文化を日本で学ぶのです。第三、人々と共にする生き方を学びました。人とさりげなく触れ合うことが得意ではなかった私は、米山の一員になり、ロータリアン、奨学生、学友たちと新密を深めていく「社会性」というものを学びました。

そして、奨学生期間終了後、私は関西米山学友会の理事会の一員として活動させていただいています。私は関西米山学友会で次の2つの経験を得られました。まず、世話クラブや関西学友会、他のロータリークラブの方々などとの交流機会が増えました。第二、世話される側から世話する立場になり、後輩の現役奨学生のサポートをし、彼らとともに成長していく機会を得られました。





## 2. 米山奨学生学友会の活動。(関<sup>みんな</sup> スラ)

学友としての今の私たちは鄭さんが紹介したように、奨学生時代に学べたことを現役の奨学生たちにも分かってもらうために学友会として活動をしています。学友会の活動を紹介させていただきますと、米山奨学生出身の学友会は日本にはもちろん、世界各地にあります。(日本国内 33、海外 9)まず、学友会の存在意義はネットワークづくりです。ロータリー精神のもと、米山という共通点で結ばれた絆は一生続くものです。次世代育成という目標を持って多様な活動をし続けています。

米山学友会は楽しい行事の開催はもちろん、さまざまな奉仕活動を行なっております。その中でもとくに外国人という特殊な利点を活用した奉仕活動を主にしています。国際理解授業や語学教室など学友各自の力量を活かした教育基盤の奉仕活動がそれです。とりわけ、関西米山学友会の場合は、学友各自の専門分野を活かして「米山教室」というワンコイン教室を運営しています。受講生の参加費収益の全てをあらゆる教育活動に関わるところに寄付をする方針で運営をします。この米山教室は、「学ぶことへの支援」から出来上がった我々の学友たちが、人に「新しい学び」を教え、それをまた「学びの場へ返す」ことであり、私としては大変誇りに思う活動です。

そして、奨学生とロータリアンの架け橋の役割を果たしています。奨学生終了後にもロータリアンとの縁を保っていけるように奨学生たちのロータリーの中での活動をサポートしています。突然奨学生になり、知らないことも不慣れなことも沢山ある奨学生たちに、日本でそしてロータリーの中で定着できる心理的基盤を作ってあげるのを目標としています。

日本国内のみならず、母国に戻った学友たちもまた、各地で米山梅吉の精神と国際奉仕・社会貢献というロータリークラブの理念に基づいて頑張っている活動をしています。海外学友会は地域における奉仕活動はもちろん、自国に来ている日本人留学生たちから奨学生を選抜、「日本国際ロータリー米山記念奨学会学友会奨学生」という名称で奨学金を給付しています。

以上の話からお分かりになっていただきたいことは、今の米山奨学生を支援する活動が、今の世代で終わることではないということです。今から次へ、次からまた次へと繋がり、日本から他の国に、それが世界に、そしてまたそれが日本に帰ってくる活動です。今の奨学支援活動がまた異なる奨学支援活動と奉仕を生み出し拡張していく、とても生産的な活動であることを分かっていたら嬉しかったです。是非、誇りに思っ活発な活動とご支援をお願いいたします。

